

【終了報告書】

研修先大学/ 活動先機関名	University of York	参加 プログラム名	ヨークプログラム	国名	英国
氏名		学籍番号		学科	多文化・国際協力学科
参加時の 学年	1年	参加費用 (日本円での概算)	1,131,753円		
参加日程	2025 年 7 月 2 日 ~ 2025 年 7 月 22 日 ( 3 週間 )			記入年月日	2025 年 7 月 27 日

① 参加前について

研修・活動に参加する目標は何でしたか。

今回の研修・活動において、私は主に二つの目的・目標を設定し参加した。一つ目は、英会話能力を勉強し、身に着けることだ。日本では文法のみ、語句のみの学習に偏りがちである。そこで、今回の留学で英語を実際に使って生活することが、英会話能力を身に着ける大きな助けになると考え、参加した。また同時に、自分がこれまでに習ってきた英語能力は現地でのどのくらい役に立つかを知ることと目的の一つとして考えていた。二つ目は、異文化に触れて視野を広げることだ。海外の家庭に三週間滞在して生活様式を学んだり、現地の人から英語や文化を学んだりすることで新たな発見や価値観を知ることができる考えたからだ。また、日本へ帰国後の勉強に生かすことも目標として設定した。特に私の所属学科では、セミナーの先生を選ぶ時期がほかの学科よりも早い。そのため、早期から特に海外の情報や知識、経験を増やす必要があると考えた。現地に行くことでしか得られないことを求め、今回の留学参加を決意した。

② プログラムについて

研修・活動の感想

ヨーク大学では主に二つの方法でイギリスの文化を学んだが、どちらもためになる興味深い学びであった。一つ目は、担当教員とセミナーの形で学んだ。小規模のグループで英語を使いながら先生が提示したイギリスの文化について、日本と比較しながら議論するというものだ。少人数での活動のため、基本的に先生と生徒の距離が近く、些細な質問もしやすい環境で学びを深めるには最高の機会であった。日本人同士で英語で話していると表現の仕方が分からず、誤魔化してしまいそうになる場面があり、それが集団で行くことのデメリットには感じた。しかし、そのような場面でも先生が積極的に交流しに来てくれるため質問に答え、丁寧に教えていただいたため非常に良い学びとなった。二つ目は、ペアを組んで文化に関するテーマを設定をし、街に出かけて20人にインタビューをし、プレゼンを行うというものだ。この学びでは直接イギリスに住んでいる人と交流することができるため、英会話能力を高めることも、文化に触れることにおいてもどちらも達成できるいい機会になった。ただし、インタビューする人数が多いにもかかわらず時間が短かったため、特定のひと長い時間話すことは難しかった。しかし、プレゼンのためのデータ分析を通して興味深いことを発見することができたため留学をした価値を感じられた。

研修・活動以外の部分についての感想

私のホストファミリーはとてもやさしい方で、非常に良くしていただいた。学校が始まった初日に待つバス停の位置を間違えてしまいバスを逃してしまったときも嫌な顔をせずに送っていただいた。また、ホストファミリーはインド人出身のためよくインド料理を作っていたが、どの料理もおいしく、新たな文化を知る良ききっかけになった。学校から疲れて帰ってくるため、私は基本的に家の中では静かで、あまり家族の皆さんと積極的に交流することはできなかった。それが唯一、留学する中で私が後悔したことだ。ヨーク市内は豊かな自然と栄えた町が共存していて、居心地のいい街だと感じた。ヨーク大学内にも多くの鳥や動物が住んでいて、素敵なキャンパスで過ごすことができた。ヨーク市内は栄えているものの3日ほどで回り切れるくらいの規模感で、十分であった。ヨークに住む人たちは穏やかで、友人たちと遊んだりお土産を買ったりする中でつたない英語を使っても店員さんなど多くの現地の人にじっくり聞いてもらったり助けられたりし、いい思い出になった。

現地学生との交流について教えてください。 ※交流がなかった場合は、空欄で構いません。

ヨーク大学では、授業のほかに任意で参加することができる社交のための活動を週に三回ほどの頻度で開催していた。現地学生の先輩にヨーク市内の様々な観光スポットに案内していただき、クルーズ船に乗ったりピクニックをしたりしながら交流するというものだ。私はそれに積極的に参加し、現地の学生と交流した。案内していただく先輩は一人しかいないため、特に留学初日は参加人数が多く日本人のみと会話して終わってしまう。そのため留学開始から1週間以上経過し、参加人数が5人以下になった時を狙って参加し、その先輩と話すことができるように努めた。その結果、落ち着いて話すことができ、他国の暮らしについて同じ年の人と交流することができて楽しかった。もう少し現地学生と交流したかったが、社交活動に参加する以外の方法としてはキャンパス内で地道に声をかける方法しがなく、さらにキャンパス内で見かける生徒の皆さんは忙しそうに見えたため現地学生と交流することは個人的に難しいと感じた。

③ 参加の成果について

今回の参加を経て、ご自身の中での学習面・精神面の成果があれば教えてください。

今回の留学経験で、五感を通して海外の生活の仕方や異文化について学ぶことができ、多くのものを吸収できたと感じている。文化の違う場所で生活する中で、多くの疑問や興味を持ったため、それらについて帰国後の勉強や研究に役に立ちそうだと考えている。また、毎日日本場の英語を聞いていたため英語に慣れた感覚を得た。さらに、この感覚をなくさないよう今後も英語学習に励もうという意欲が湧いた。精神面に関しては、まだ成果・成長したと言い切れるか不明だが、日本と全く異なる環境で生活したことにより様々なことに寛容になったと感じている。日本で当たり前であるはずのことが通用しないという日常を経験することによって、日本でも同じような受け入れがたいことが起きた時にも寛容に、冷静に対処できるようになったのではないかと考えている。また、海外の人と交流したいという気持ちから日本にいた時よりも人に話しかけることが増え、その結果他人とコミュニケーションを取ることにに対する不安が減ったと感じている。

④ その他

その他、気づいたことや今後参加する方へのメッセージがあれば記入してください。

日本人同士で留学に行くから参加する意味がない、と留学をためらう人が稀にいるが、積極的に日本人以外の人に声をかけたりイベントに参加したりすることでこの問題は解決できるため、心配いらないと私は考えている。むしろ、日本人が周りにいるという焦りから積極的に行動できるため逆におすすしたい。私は実際に、常に積極的に行動することを心掛けた。たくさん話しかけても、自分と会わない人も当然多く、失望することも多かった。しかし、最終的に一人、お互いに連絡をとりあえるようなイギリスに住む友人を得た。この経験を通してわかったことは、あきらめない、粘り強さが大切だということだ。この力を普段の生活の中で培っておくと、もちろんほかの活動にも大いに生かせるが、留学した時に大きな助けになると私は信じている。日本人同士で留学に行くからこそ、困ったとき、緊急事態が起きた時に助け合える環境は整っている。だからこそ、挑戦できることが多い。今後参加する方は、失敗を恐れずに挑戦を重ね、自分で価値のある留学になるように頑張っていたきたい。

国際センターのHPに掲載してもよい写真があれば添付してください。キャプションもつけてください。



ヨーク大学には学生食堂がありました。この写真はナチョスという料理で、ポテトチップスにチーズやケチャップと一緒に食べます。とてもおいしかったです。ほかにも日替わりでジャケットポテトやカレーなど、イギリスにまつわる食事が提供されていました。



ヨーク大学の授業では一時間目と二時間目の間に30分間の休憩があります。その間に写真の通り紅茶とビスケットが提供されます。この写真に写っている紅茶はヨークシャーティーというブランドのもので、現地では有名でスーパーに必ず売っています。お湯で抽出した紅茶に牛乳をたっぷりを入れて飲む方法が一般的でした。どちらもとてもおいしかったです。



留学プログラムに含まれていた観光です。ウィットビーという港町に行きました。海の景色を見たり、崖に立つ寺院まで階段を119段上ったりしました。この写真は、ウィットビーから見える海とその寺院の近くで紅茶を飲んだ時の写真です。観光スポットでありつつも穏やかな雰囲気が漂っており、このような機会では来られない良い体験でした。



ヨーク大学で募集されていたアクティビティに参加し、クルーズ船に乗った時に撮った写真です。ヨーク市内にあるウーズ川を流れました。きれいな景色を見ながら、現地学生の先輩や香港から来た留学生たちと交流し、良い時間を過ごしました。



これはヨークミンスターの写真です。伝統的な建物で、礼拝や宗教儀式が行われています。ヨーク大学から学生証をもらうため、それを使うと無料で入場し、観光することができます。中は天井が高く、開放感がありました。またきれいなステンドグラスや像が並んでおり、感動しました。